

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 歴史探究

教科： 地歴公民科 科目： 歴史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

科目担当者：（1～7組：小川・武井）

使用教科書：（ 歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】 ）

教科 地歴公民科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	戦後の国際秩序 【知識及び技能】 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築しているのか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組む。	1. 新たな国際秩序と冷戦の始まり 2. アジア諸地域の独立	【知識・技能】 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築しているのか理解している。 【思考・判断・表現】 東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	冷戦と世界経済① 【知識及び技能】 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後に独立したアフリカの国々で、いまだに安定していない国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組む。	1. 集団防衛体制と核開発 2. 米ソ両大国と平和共存 3. 西ヨーロッパの経済復興 4. 第三世界の連携と試練	【知識及び技能】 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後に独立したアフリカの国々で、いまだに安定していない国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 歴史探究

教科 地歴公民科 科目 歴史探究 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 7 組

科目担当者 (1 ～ 7 組 : 小川・武井)

使用教科書 (歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】)

教科 地歴公民科 の目標 :

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	冷戦と世界経済② 【知識及び技能】 核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 1970年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 開発独裁が今日にもあるとすれば、それはどのような形で存在しているのかについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組む。	1. 核戦争の恐怖から軍縮へ 2. 冷戦構造のゆらぎ 3. 世界経済の転換 4. アジア諸地域の経済発展と市場開放	【知識及び技能】 核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1970年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 開発独裁が今日にもあるとすれば、それはどのような形で存在しているのかについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
				○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	グローバル化する世界 【知識及び技能】 東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 東欧革命による各国での新体制をについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組む。	1. 冷戦の終結と国際情勢 2. ソ連の崩壊と経済のグローバル化 3. 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 4. 地域紛争の激化	【知識及び技能】 東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 東欧革命による各国での新体制をについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 歴史探究

教科 地歴公民科 科目 歴史探究 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 7 組

科目担当者 (1 ～ 7 組 : 小川・武井)

使用教科書 (歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】)

教科 地歴公民科 の目標 :

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	現代世界の諸課題 【知識及び技能】 グローバル化のなかで福祉国家体制から、新たに登場した新自由主義について理解し、経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組む。	現代世界の諸課題	【知識及び技能】 グローバル化のなかで福祉国家体制から、新たに登場した新自由主義について理解し、経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究したいことを見出して学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
				○	○	○	3
							合計 70